千葉市緑化推進協議会

活動紹介と入会のお誘い（活動ボランティも募集中）

千葉市緑化推進協議会は、緑豊かなまちづくりを推進することを目的として、約43年前1978年(昭和53)年に設立されました。 現在、個人会員も含め48会員（約15,380戸）が加入し、会員間の情報交換、樹木診断会や研修会のほか、園芸講習会、市の行事への協力などの活動を通して千葉市内の緑化推進の役割を担っております。

入会いただければ会員地区で専門家によるアドバイスを直接受けられる「樹木診断会」の開催や各種イベントへの参加、情報交換が可能となります。

年会費は戸数により「(1)～199戸 3千円、(2)～299戸 5千円、(3)～499戸 8千円、(4)500戸以上 15千円、その他「個人会員 千円、賛助会員 1口千円」です。（活動ボランティアは各活動の支援を通して貴重な経験ができます）

樹木診断会
専門講師が会員地区に伺い、樹木の管理や植栽方法、ガーデニングなど緑と花に関すること全般についてご相談に応じています。「診断報告書も作成します」

視察研修会／会員間訪問ツアー
緑化意識の高揚と会員相互の交流のため開催します。
（写真は、2020年12月の会員間訪問ツアー）

園芸講習会
寄せ植え講座など実習をともなう講習会を開催します。（写真は苔だまづくり講習会）

敷地を管理している皆さまへ

千葉市緑化推進協議会

ご存知ですか「トウネズミモチ」のこと

トウネズミモチは、公害に強く生垣等にも、多く利用されましたが、大量の果実を実らせ、鳥による種子散布で繁殖し生態系に影響を及ぼすため、外来生物法で要注意外来生物に指定されております。果実が実る前の『剪定』や『駆除』(実生・稚樹の抜き取り、伐採)をおすすめします。 草木図鑑 植木ペディア ＞ トウネズミモチ

当協議会の樹木診断を受けた多数箇所でトウネズミモチが散見され、不要と判断し約40m伐採、剪定費用を削減した例もあります。

駆除(伐採)前 → 駆除(伐採)後

地域で決まった日に束ねてゴミステーションへ出せば、収集され再資源として活用されます。

← 初夏に枝先に白色の花を多数咲かせます。

← 12月ごろ実ります。

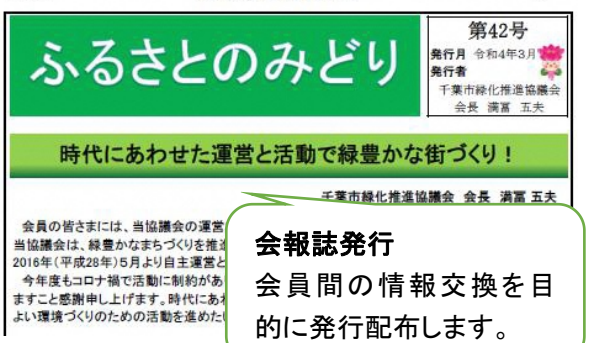
← 光にすかして見ると、側脈がはっきりと透けて見えるのが特徴で、在来種のネズミモチと区別できます。

千葉市 木の枝・刈り草・葉の資源収集について
http://www.city.chiba.jp/kankyo/junkan/shushuyomu/senteieda-recycle.html
ご参照：国立環境研究所 侵入生物データベース「トウネズミモチ」
https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/81050.html

問合先:Email:c.ryokkasuisin@gmail.com TEL.090-6517-8555

講演会
緑化推進に役立つ花や緑に関する講演会を一般市民も対象に開催します。

情報発信
お役立ち情報や外来植物等の情報発信と啓蒙活動をしています。


第42号 ふるさとのみどり (1)

ふるさとのみどり

第42号
発行月 令和4年3月
発行者
千葉市緑化推進協議会
会長 満冨 五夫

時代にあわせた運営と活動で緑豊かな街づくり！

千葉市緑化推進協議会 会長 満冨 五夫

会員の皆さまには、当協議会の運営
当協議会は、緑豊かなまちづくりを推
2016年（平成28年）5月より自主運営と
今年度もコロナ禍で活動に制約があ
ますこと感謝申し上げます。時代にあ
よい環境づくりのための活動を進めた

会報誌発行
会員間の情報交換を目的に発行配布します。

お問合せ先：**千葉市緑化推進協議会事務局**「満冨(みつとみ)」
TEL: 090－6517－8555 FAX: 043－253－3815
Email: c.ryokkasuisin@gmail.com ホームページ[千葉市緑化推進協議会][検索]

2022.03